

721

判明しているもの、何処を馳せているか見当がつかない。  
Sacramento 州会長の佐藤氏が、簡章と案内汽車  
や冊子を持っており、今、おらの旅程はそれでも  
更に判断できぬのだ。哨兵も Fort Lewis からの  
者だと、研究にはぬるが、要するに Montana  
Billings を南下し Wyoming の中央と、しだいに  
ルビオンでぬる事にはおのづかしく、次は Denver  
市と想像される。

April 12 (日)。

黎明の午前四時一大都市に車は入る。Denver  
市と判る。

早曉に加ふるに要する列車の、停車場は  
むしろ暗黒と言っても良い程、寂然として夢に落ちたも  
のだ。後で判つた事には、此処で山根某君と云々一  
青年が Salt Lake 市の都監獄に約四ヶ月の監  
禁後、送られて乗車し、おらに加はった。

約一時間廿分の停車後、午前五時廿分  
発車、再び暗を縫ってした走るのである。

処々に油田らしく、油波に井戸の構が見える、試  
掘中のものでもあらう。自ら立つものはハイウェイに  
自動車の見へる、平た、自動車國の自動車路に  
斯く車の馳る姿と見受けさうは、戦馬のいか  
んを物語り、石油の統制とラバーの制限が  
其結果と如実に物語つてぬるとも云へやう。

222

Denver から急に食事が悪くなったが、Service も皮肉な思い。アリの盆おこしはあつた、紙皿は落く腰の上に液体が漏る事になった。即ち Steward らしい男が来ると呼びに Charlie と次で軽蔑的態度だ。食堂列車が Rock Island R.R. と云ふに変わったのである、M. P. R.R. とは凡そ比較にならない。

Denver 数日後約八時向日の地獄にて、士官らしい兵隊が親切にも、時計を一時間違ひの事と告げ注意して車内を渡つた。又昨朝食事後、二、三回に亘り、一士官は汽車の Steward を伴ひ、食事は Rating により異議なきやと尋ねて歩いたのは、陸軍にて敵国市民監視上の態度として当然でもあらうが好い、軍中の態度だと断じ得る。

或る town で Kansas の自動車を見受けたと思つたが、或る処では Nebraska の licence をも停電中の car 自動車に見せし事でもある。

午後六時、Belleville と呼ぶ小 town を過ぐ。漸く青い煙を望見するに到り、緑樹さへは知彼処に眺むるを得て来た。

夕暮が到り town を徐りする。町端にも通行する時に、黒人の児童が多数遊戯に耽つてゐる。黒人の学校でもあらう、ground に stand ありや形 stadium らしくも見た。軒毎に黒人が居る。だが相當人口の市である事は想像に

223.

餘りある。町に沿って、かたりの河が流れてゐた。  
黒人ウエスターと呼んで、何処かと尋ねると "I  
don't know" と甚だ幸氣あり返答に、汽車の  
軌道現業員が沿道の市町村も知らぬ譯  
は無い。蓋し嚴命に基く no answer であらう。

夕食にあたって、下痢するもの頻り、便所は  
引つ切りをいふ迄に。一同憤慨揃く能はず。  
Rock Island R.R. は批難の的となり、一馬喰  
ある。若し中毒にも罹って死人でもおたら、無防  
備地帯への爆弾投下による市民惨殺にも  
比すべきであらう。

April 13th (A).

昨夜深更中、十六回も便所通ひをいた者が  
あった。だが幸い多数はお康を將に。  
市町村は未だすっかり回復しない。僕は  
例の胃痛のたゞ物對口にしかつたから、幸い  
難を受れた。

午前六時五十分 Anadarko と云ふ一小  
村に過ぐ。朝食後、午前八時から九時頃、目的  
地へ到着。豫定する旨が報告され、全員漸く  
下車の準備に取りかかった。

總て列車は兵隊らしき構内に入ら  
せられ待たせられ、バウツクの散在するのを初  
め次第に兵隊の姿が見られる、戦時であるか